

氏名(本籍)	なか の さと こ 中野 聡子(岐阜県)		
学位の種類	博士(心身障害学)		
学位記番号	博甲第2709号		
学位授与年月日	平成13年5月31日		
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当		
審査研究科	心身障害学研究科		
学位論文題目	聾児の手話表現にみる空間認知の発達的特徴		
主査	筑波大学教授	教育学博士	吉野 公喜
副査	筑波大学教授	学術博士	斎藤 佐和
副査	筑波大学助教授	博士(心身障害学)	四日市 章
副査	筑波大学教授	P h . D .	飯田 稔

論文の内容の要旨

本論文は、聾児の空間認知の発達の様相を手話による表現をとおして実験的に明らかにしようとしたものである。研究Ⅰ(実験1～11)では、聾児の3次元物体の「描画表現」と「手話表現」における発達レベルが明らかにされた。すなわち、聾学校在籍の4・5歳聾幼児は、3次元物体を手話表現で構成するとき、奥行きの特徴、立体的特徴を示す「手型」を示す傾向は、いくぶん認められるも、描画表現にみられるものと同様に2次的に構成する発達段階にあることがみいだされた。しかしながら、3次元物体についての手話による立体表現の理解課題(物体の同定)にあつては、4歳聾幼児(67.6%)と5歳聾幼児(91.3%)の間に著しい差がみいだされた。5歳聾幼児は、3次元物体を手話表現によって「3次的に構成」することは困難であっても、手話によって3次的に表現された同定課題でよい成績を示すことが明らかにされた。一方、聾学校小学部の8歳聾児と10・11歳聾児の3次元物体の手話表現による構成は、8歳聾児にあつては4・5歳聾幼児とは著しく異なり、用いられる「サスの手型」がG型、O型、F型にみられるような複雑な表現形態をとっていることがみいだされた。しかしながら、8歳聾児は複数の面に着目はしていても、立体を総合的に表わす手型を構成的に表現するまでにはいたっていない、3次元物体の知覚的特徴にひきづられ、そのものからいったん離れて構成するという「脱中心化」が未だ困難な発達段階にある。10・11歳聾児は基本的に成人聾者の空間構成と同水準の発達レベルにあり、個々の3次元物体の特徴をよくとらえて、それに応じた適切なサスの手型や動的サスを組み合わせて表現することが認められた。研究Ⅰの実験的研究をとおして、著者は3次元物体の空間構成の理解と表現において、下位水準を内包する3つの発達水準を提唱している。

研究Ⅱ(実験12～15)では、4歳聾幼児、5歳聾幼児、8歳聾児、成人聾者を対象として、空間布置(ミニチュア家具を用いた空間布置)における手話表現にみる発達的特徴が明らかにされた。すなわち、4歳聾幼児では、個々の家具(呈示物)を他と関係づけることなく指差すことにとどまっておき、「自分自身がミニチュアの部屋に入って個々の家具を特定化する」という発達レベルにあることを示している。5歳聾幼児は、呈示物と特定の家具との位置関係のみで表現することがみられ、これらを空間布置から切り取り、「固定的参照系を用いて呈示物と特定家具を構成する」という発達レベルにあることを示している。一方、8歳聾児は家具と家具との位置関係と距離関係を考慮に入れ、それらを空間座標系に割りあてて空間布置を構成することが可能とはなるものの、部屋全体の位置関係を縦軸、横軸の空間座標系で構成するという成人聾者の発達レベルにはまだ至っていないことが

みいだされた。

本研究は、聾児の空間認知発達の特徴を空間に表記するという手話表現をとおして明らかにしようとしたものであり、以下の点が明らかにされた。

- (1) 3次元物体の空間認知の発達を明らかにする方法として、手話表現にみる構成手法は有力な方策の一つといえることができる。
- (2) 聾児の空間認知の発達は、3次元物体の構成に関しては単一面のみの把握から複数の面の統合にむけて、そして空間の布置に関しては空間の部分的、特定のな関係のみの把握から空間全体の位置関係に着目した把握にむけて、その方向性と階層性において明確な発達水準が存在する。

審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、空間に記号的表記をおこなうという手話表現をとおして、聾児の空間認知の発達の特徴を明らかにしたものである。4, 5歳聾幼児, 8, 10・11歳聾児および成人聾者を対象として、「3次元物体」と「空間布置」の理解と表現を実験的に検証し、聾児の空間認知の発達水準についていくつかの知見を提出している点は十分に評価できる。しかし、研究Ⅰと研究Ⅱとの関連づけおよび総合的考察に検討課題が認められることなど批判の余地は少なくない。とはいえ、聾児の認知発達研究に新しい境地を開いた研究であり、今後期待するところは大きいといえる。

よって、著者は博士（心身障害学）の学位を受けるに十分な資格を有するものと認める。